

保健師



技術職

あなたの可能性が
まちの未来を拓く



保育士



令和7年度

蕨市職員採用試験案内

◎募集職種

技術職（土木・建築）
保育士・保健師

◎申込期間

7月1日（火）～8月14日（木）正午まで

◎一次試験日

技術職（大学卒・短大卒）：8月31日（日）
上記以外の職種：9月21日（日）

◎申込方法

電子申請のみ

❖ 蕨市職員は生涯をかけるに値する仕事です



人口減少・少子高齢社会のなかで、地方自治体において、「選ばれる」まちづくりを進めていくことが、地域の持続可能性にとって大きな鍵となっています。

蕨市は、日本一コンパクトな市域に、宿場町や機織りのまちとして栄えた歴史や文化の薫りが溶け込み、住民参加の豊かなコミュニティが息づくとともに、都市としての高い利便性を併せ持つまちです。蕨市では、その特長を最大の強みとしながら、市の最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンⅡに基づき、「安心・にぎわい・未来 みんなで創る みんなにあたたかい みんなのまち蕨」の実現に向けて、市民の皆さんとともに、住みやすさ日本一のまちを目指そうと、市長を先頭に職員が一丸となって、日々、蕨のまちづくりを前進させています。

蕨市では、この間、人口の増加傾向が続き、子育て世帯の85%が「子育てしやすい」と答えるなど、「選ばれる」まちとして発展を続けていますが、一昨年秋に市民サービスの拠点である新庁舎が開庁し、蕨の「顔」である蕨駅西口再開発事業が着工するなど、今、蕨はまさに飛躍の時を迎えています。蕨市職員としての仕事は、市民の暮らしを支えるやりがいや地域とともに成長できる自治体職員としての醍醐味はどこにも負けないと自負しています。私たちは、この夢のある事業に共に携わっていく仲間として、市民の笑顔を力に換え、困難にも挑戦できる、やる気あふれる皆さんをお待ちしています。

蕨市長 頼 高 英 雄

❖ 蕨市が求める人材とは 「蕨市のため、市民のために自ら考え、 持てる知恵と力を発揮できる職員」

地方自治を取り巻く環境が大きく転換する中、市民一人ひとりが、幸せに暮らすことができる豊かな地域を市民と協働して創造していくため、市民のためにまちのために、知恵と力を発揮し、温かい心で献身的に尽くす職員が求められています。

■ やる気と明るさ

明るく豊かな人間性を持ち、市民のために常に問題意識を持って新しい課題や困難な課題に果敢に自らチャレンジし、とことん汗を流せる人

■ 市民とともに

市民と協働して、優れた「地域力」を発揮したまちづくりに取り組むため、「わらび」を愛し、市民の立場になって感じ、ともに考え、ともに行動できる人

■ 経営感覚

市の将来を見据え、都市を経営するという視点に立ちながら、高いコスト意識を有し、限られた財源を生かすため創意工夫を発揮して、効率的かつ効果的な仕事のできる人

所属と現在の業務

私は、蕨市保健センターに勤務しています。主に成人の予防接種や精神保健等の業務を担当しています。



先輩職員の声

職場の雰囲気と志望者へ一言

保健センターには、現在、保健師が11名在籍しています。職場は、若い職員が多いこともあり、和気あいあいとした明るい雰囲気です。また、日頃から気軽に相談ができるので、一人で悩まず同僚と一緒に考えながら仕事ができている。他にも、保健センターでは「ウォーキングイベント」や「市民向け講座」など多くの事業を企画・立案していますが、その際に、職員個々の意見を出し合い、内容を決めていきます。そういった場面において、個人の意見が尊重してもらえるため、主体性をもって働くことができるのも魅力の一つだと感じています。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています。

保健師 平成27年度入庁

所属と現在の業務

私は、水道部維持管理課に勤務しています。主に工事図面や設計書の作成、工事現場の監督、洗管等の業務を担当しています。



仕事のやりがいと志望者へ一言

私の職場は、市民の皆様へ安心・安全な水道水を安定的に供給できるよう、水道設備等の維持管理に努めています。私は主に配水管の布設替工事の図面及び設計書の作成を担当していますが、私が設計した配水管が、将来何十年にも渡り、市民の皆様へ水道水を供給するための経路となるということを考えると、大変重要な業務であると同時に、そこには大きな責任を感じます。ただ、重要な業務であるからこそ、配水管工事が完工し、正常に給水が確認できた際には、大きな達成感を感じるとともに、非常にやりがいを感じます。「蛇口をひねれば当たり前前に水が出る」、この当たり前を支えるために、私達は日々努力しています。皆様と共に、蕨市職員として働けることを楽しみにしています。

技術職 令和2年度入庁

所属と現在の業務

私は、5歳児クラスの担任をしています。主に子どもの保育や保護者の方々への子育て支援を行っています。



蕨市で働く魅力と志望者へ一言

蕨市は、人のあたたかみを肌で感じる事ができる素敵な市です。地域の方々は、気持ちの良い挨拶を返してくださったり、お散歩の際には園児たちをあたたかく見守ってくださいます。また、一緒に働く経験豊富な先輩方も優しく、時にあたたかな目で見守ってくれるので、安心して保育ができています。私自身、仕事をしていると大変だと感じることもありますが、周りの先輩方が優しく丁寧に指導して下さり、相談に乗っていただけるおかげで、笑顔で仕事できています。そんな素敵な先輩方や、毎日色々な表情を見せてくれる子どもたちの近くで保育士として働くことはきっと楽しいと感じると思います。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

保育士 令和4年度入庁



わらび の じまん

蕨市は、古くは中山道の宿場町、機織物のまちとして栄え、戦後は首都圏の住宅都市として発展してきました。

都心にほど近いまちでありながら、住民の間から全国に先駆けて「成年式」が生まれた歴史を持ち、「宿場まつり」をはじめ、住民参加型のイベントが盛んであるなど、人と人との触れ合いや郷土愛、コミュニティの親密さが自慢のまちです。

ここでは、まちは小さくても、住む人の心は大きく温かい、蕨市の魅力の一部をご紹介します。このまちの歴史をつなぎ、未来を拓いていくのは、君たちの挑戦する気持ちと無限の可能性です。

中山道の 宿場町



蕨は古くから、江戸と京都を結ぶ中山道の宿場町として栄え、にぎわいを見せていました。中山道では地域住民と市の協力の下、現在も当時を偲ばせる街並みが整備されています。また、毎年11月3日にはこうしたまちの歴史と誇りを語り継ごうと「中仙道武州蕨宿場まつり」が開かれ、市内外から集まった多くの人でにぎわいます。

機織りの まち蕨



江戸末期から戦前まで蕨は全国でも有名な綿織物業が盛んなまちでした。現在では当時生産されていた双子織を後世に語り継ぐため、地域資源として位置付け、まちぐるみで蕨ブランドの創出に取り組んでいます。毎年8月には、織物業の発展を願うお参りや蕨駅前通りでは「わらび機まつり」が開かれ、多くの七夕飾りが並ぶ盛大な催しとなっています。

成人式 発祥の地



成人式が蕨で始まったことをご存知でしょうか。終戦直後の混乱と虚脱感が大きかった昭和21年、当時の蕨町青年団が「成年式」を開催し、次代を担う新成人を招いて激励し、その前途を祝しました。昭和23年7月、国民の祝日として「成人の日」が制定されましたが、当時の青年たちの思いを今に繋ごうと、蕨では今でも「成年式」として開催しています。

日本一 小さな市



蕨市は面積5.11平方キロメートル。富士五湖の1つ本栖湖とほぼ同じ面積に約7万5千人が暮らす、日本で最も小さな市で、人口密度も日本一です。その特性を活かして全国に先駆けてコミュニティのまちづくりが進められた蕨市は、住民同士の交流が深く、様々な地域活動が盛んです。こうした市民の力と行政が一体となり、蕨のまちづくりは進められています。

発行：蕨市職員試験委員会

問合せ：埼玉県蕨市総務部人事課

(蕨市中央5-14-15・電話 048-433-7746)